

議決権行使レポート

証券コード 6849

会社名 日本光電工業

	賛成	反対	棄権
第1号議案 剰余金の処分の件	○		
第2号議案 取締役8名選任の件			
荻野 博一 氏	○		
田村 隆司 氏	○		
長谷川 正 氏	○		
田中 栄一 氏	○		
吉竹 康博 氏	○		
佐竹 弘行 氏	○		
村岡 香奈子 氏	○		
笹谷 秀光 氏	○		
第3号議案 監査等委員である取締役1名選任の件			
平田 茂 氏		○	

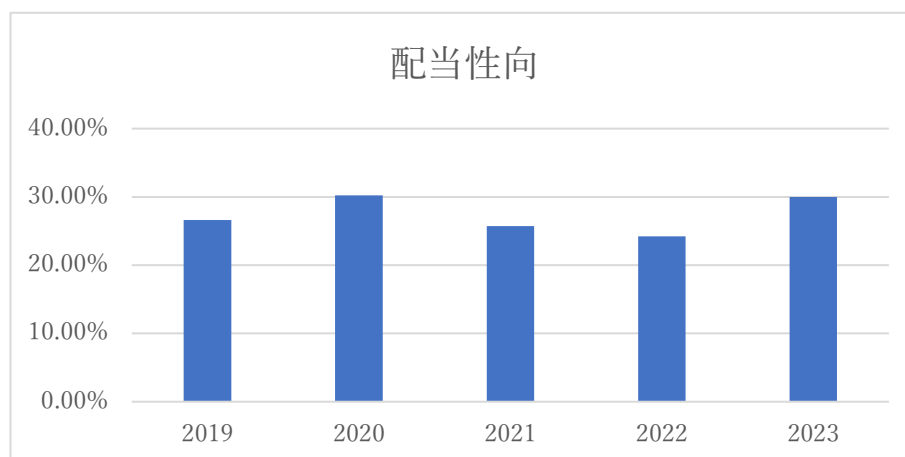
上記の推奨をした理由

1. 第1号議案について

ISSの2023年版日本向け議決権行使助言基準によると、配当性向が15%から100%の場合に賛成が推奨されている。過去5年間の日本電工の配当性向(グラフ1)を見ても基準を十分に満たしていることがわかる。新型コロナウイルスの影響で、経営や雇用の継続のために資金を配当に当てるのではなく、内部に留保する必要があったこともあり、一度は30%から24%までに落ち込んだ配当性向ではあったが、2023年3月には新型コロナウイルス流行前の水準にまで回復している。

またISSによると、「十分な説明がなく、配当性向が継続的に低い」「配当性向があまりに高く、財務の健全性に悪影響を与えうる」の2点に該当しない場合、原則として賛成を推奨していることから、その2点に該当しない日本光電工業は原則として賛成が推奨されるべきだと考えられる。

以上の点から総合的に判断し、第1号議案に賛成する。



(グラフ1 過去5年の日本光電工業の配当性向)

2. 第2号議案について

同議案において、すべての取締役候補に賛成する。同社のROEは、過去5年をみても平均して10%を超えており、ISSの定める基準の5%を上回っているため、資本生産性が保証されている。取締役会に占めるISSの独立性基準を満たす社外取締役が、11名中4名であり、その割合は3分の1以上となっている。ジェンダー・ダイバーシティの観点からも松岡氏を選任しているためISSの基準を満たしている。しかしながら、将来的には取締役会に占める女性取締役の割合を増加させ、さらなる多様性を作り出していく必要はあるだろう。

3. 第3号議案について

監査等委員である取締役の平田氏の1名について、平田 茂氏は、主に人事、財務・会計関連業務に従事し、総務人事部長、人事部長、経理部長を務める等、会社における豊富な業務経験と財務および会計に関する相当程度の知見を有している。その経験や知見を活かすことにより、業務を執行しない取締役の立場からの経営の監査・監督が期待ができると考えられる。しかしながら、平田氏と会社との利害関係がないとしながらも、ISSの定める独立性の基準を十分に満たしているとは言えない。この点において反対を推奨する。